

学校選択制・中学校給食アンケート結果 概要

大阪市では、就学すべき小・中学校について、区長があらかじめ保護者の意見を聴取し、その意見を踏まえて学校を指定する小・中学校の「学校選択制」の具体化や「中学校給食」の実施に向け、検討を進めています。

都島区役所では、区民の皆様から幅広くご意見を頂戴し、集約するため、5月に学校教育フォーラムを開催し、会場からのご意見・ご質問にお答えするとともにアンケートをお願いし、また、区民モニター、保護者の方々のご協力を得て、アンケートをお願いしました。

このたび、集計結果をとりまとめましたので、ここに概要をお知らせします。

なお、「学校選択制」については、本年4月より学識経験者・保護者・地域・校長代表や公募した市民の方々などから構成される教育委員会の熟議『学校選択制』で、制度内容、メリットや課題への対応策などの議論が行われており、今後、アンケートで頂いたご意見と「熟議」での議論を踏まえ、「中学校給食」とあわせて区長が秋以降に方向性を決定する予定です。

最後に回答にご協力を頂きました区民の皆様、学校・施設関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

1. 各アンケートの結果

(1) 学校教育フォーラムアンケート

- ・ 都島区学校教育フォーラムの来場者 128 人の方々にアンケートを実施しました。回答数は 109 件、回答率は 85%でした。
- ・ 区民モニター、保護者アンケートと比較すると母数は少なくなりますが、年齢層の比率では 60 歳以上が 35%、次に 40 歳代が 27%となっています。
- ・ 学校選択制については、「小学校・中学校とも賛成」が 24%、「中学校での実施は賛成」が 18%、（あわせると 42%）となっています。「実施に反対」は 46%です。
- ・ 賛成する理由としては、複数回答のうち、65%の方が「子どもの個性や希望に合った学校が選択できると思う」をあげています。それ以外の理由はほぼ同じ割合となっています。
- ・ 反対する理由としては、「子どもの守りや防災訓練など、学校と地域が連携した取組がうまくいかなくなる懸念があると思うから」が最も多く 79%、「学校の施設や保護者間の評判等で学校が選ばれ、児童生徒数がかたよる恐れがあるから」も 64%の方があげています。
- ・ 賛成の場合の導入方法については、小学校は「自由選択制」が 39%、「隣接区域選択制」が 39%と同じで、中学校では「自由選択制」が 44%、「隣接区域選択制」が 26%と、前者が上回っています。

- ・ 中学校給食については、「全員が学校給食を食べる」が 55%、「学校給食か、家庭から持参する弁当のどちらかを選ぶ」が 32%となっており、無回答・不明も 13%あります。
- ・ 最後に自由記述で、学校選択制、中学校給食についてご意見をお伺いしたところ、学校選択制へのご意見が約 49 件、中学校給食へのご意見が約 33 件ありました。その中で、アレルギーについて 6 件、量の過不足について 5 件、給食費の未払問題について 2 件のご意見を頂いています。

(2) 区民モニターアンケート

- ・ 区民モニター（公募 196 人、無作為抽出 257 人 計 453 人）を対象に、郵送、インターネットによりアンケートを実施しました。回答数は 398 件、回答率は 88%でした。回答者の年齢層は、60 歳以上が 37%と比較的高齢者が多くなっています。
- ・ 学校選択制については、「小学校・中学校とも賛成」が 31%、「中学校での実施は賛成」が 27%（あわせると 58%）となっています。「実施に反対」は 31%です。
- ・ 賛成する理由としては、複数回答のうち、63%の方が「子どもの個性や希望に合った学校が選択できると思う」をあげています。それ以外の理由は、概ね同じ割合となっています。
- ・ 反対する理由としては、「学校の施設や保護者間の評判等で学校が選ばれ、児童生徒数がかたよる恐れがあるから」が 58%、「子どもの守りや防災訓練など、学校と地域が連携した取組がうまくいなくなる懸念があると思うから」が 55%となっており、これら 2 つの理由が比較的多くなっています。
- ・ 賛成の場合の導入方法については、小学校は「自由選択制」が 43%、「隣接区域選択制」が 42%とほぼ拮抗しています。一方、中学校では「自由選択制」が 58%、「隣接区域選択制」が 25%と前者が後者を 2 倍以上、上回っています。
- ・ 中学校給食については、「全員が学校給食を食べる」が 61%、「学校給食か、家庭から持参する弁当のどちらかを選ぶ」が 37%となっています。
- ・ 自由記述で、学校選択制、中学校給食についてご意見をお伺いしたところ、学校選択制へのご意見が約 90 件、中学校給食へのご意見が約 180 件ありました。その中で、給食費の未払問題について 37 件、アレルギーについて 10 件のご意見を頂いています。

(3) 保護者アンケート（保育所、幼稚園、小学校）

- ・ 区内の保育所、幼稚園、小学校のご協力を頂き、児童（7,458 人）を通じて保護者の方々にアンケートを実施しました。回答数は 4,497 件、回答率は 60%でした。
- ・ 回答者の年齢層は 30 歳代が 54%、40 歳代が 37%となっています。

- ・ 学校選択制については、「小学校・中学校とも賛成」が30%、「中学校での実施は賛成」が21%、（あわせると51%）となっています。「実施に反対」は34%でした。
- ・ 賛成する理由としては、複数回答のうち、68%の方が「子どもの個性や希望に合った学校が選択できると思う」をあげており最も多く、それ以外の理由はほぼ同じ30%台となっています。
- ・ 反対する理由としては、「学校の施設や保護者間の評判等で学校が選ばれ、児童生徒数がかたよる恐れがあるから」が最も多く65%、次いで「子どもの守りや防災訓練など、学校と地域が連携した取組がうまくいかなくなる懸念があると思うから」が59%で、その他2つの理由はほぼ同じ割合となっています。
- ・ 賛成の場合の導入方法については、小学校は「自由選択制」が44%、「隣接区域選択制」が35%と前者が上回っており、中学校では「自由選択制」が52%で、「隣接区域選択制」26%の2倍近くになっています。
- ・ 中学校給食については、「全員が学校給食を食べる」が80%、「学校給食か、家庭から持参する弁当のどちらかを選ぶ」が17%となっています。
- ・ 自由記述で、学校選択制、中学校給食についてご意見をお伺いしたところ、学校選択制へのご意見が約590件、中学校給食へのご意見が約1240件ありました。その中で、給食費の未払問題について約250件、アレルギーについて約130件のご意見を頂いています。

2. 各アンケート間の比較

- ・ 「学校選択制」については、区民モニターアンケートと保護者アンケートでは、回答者の年齢層は異なるものの、実施への賛成・反対の比率が比較的等しくなっています。
- ・ 一方、学校教育フォーラムアンケートでは、「実施に反対」が小学校・中学校ともに賛成を上回っています。
- ・ 賛成する理由としては、いずれのアンケートでも、「子どもの個性や希望に合った学校が選択できると思う」が他の3つの理由に対して多く、反対する理由としては、「学校の施設や保護者間の評判等で学校が選ばれ、児童生徒数がかたよる恐れがあるから」と「子どもの守りや防災訓練など、学校と地域が連携した取組がうまくいかなくなる懸念があると思うから」が他の2つの理由よりも多くなっています。
- ・ 賛成の場合の導入方法については、区民モニターアンケートとフォーラムアンケートがほぼ同じなのに対し、保護者アンケートでは、中学校だけでなく、小学校でも「自由選択制」と回答される割合が高くなっています。
- ・ 「中学校給食」については、保護者アンケートでは「全員が学校給食を食べる」が80%と多い一方、区民モニターとフォーラムアンケートでは、いずれも6割程度となっています。

学校選択制と中学校統制について アンケート結果

質問1 あなたの年齢、居住地域などについてお答えください。	調査日 10月10日 回答者数 109名 回答率 95.20%	学校教育フォーラム H24/05/13		区民モニター H24/05/16 - 05/21		保護者アンケート H24/05/16 - 05/21		合計	
		人	比率	人	比率	人	比率	人	比率
【年齢】 ① 18歳未満 ② 18歳～29歳 ③ 30歳～39歳 ④ 40歳～49歳 ⑤ 50歳～59歳 ⑥ 60歳以上 ⑦ 無回答		0 5 21 30 15 38	0.0% 4.6% 19.3% 27.5% 13.8% 34.9%	0 31 77 75 68 147	0.0% 7.8% 19.3% 18.8% 17.1% 36.9%	96 211 2,422 1,679 59 203	2.1% 4.7% 53.3% 37.3% 1.3% 0.4%	96 211 2,422 1,679 59 203	1.9% 4.8% 50.4% 35.7% 2.8% 4.1%
【居住地】 ① 区内 ② 区外 ③ 無回答		96 11 2	88.1% 10.1% 1.8%	395 3 0	99.2% 0.8% 0.0%	4,106 152 239	91.3% 3.4% 5.3%	4,106 152 239	91.9% 3.3% 4.8%
【子どもとの関係(あてはまるものはいくつも記入ください)】 ① 小学生の保護者 ② 中学生の保護者 ③ 高校生の子ども(幼稚園、保育所等)の保護者 ④ 高校生の保護者 ⑤ その他 ⑥ 無回答		29 16 34 14 6	26.6% 14.7% 31.2% 12.8% 5.5%	37 19 179 126 13	9.3% 4.8% 45.0% 31.7% 3.3%	3,418 823 2,165 45 10	76.0% 13.9% 49.1% 1.0% 0.2%	3,418 823 2,165 45 10	69.6% 13.1% 48.1% 3.7% 0.6%
質問2 学校選択制の実施について、ご意見を伺います。		(109)		(398)		(4,497)		(5,004)	
① 小中学校とも学校選択制の実施に賛成である ② 小学校での実施に賛成であるが、中学校での実施は反対である ③ 中学校での実施に賛成であるが、小学校での実施は反対である ④ 学校選択制の実施に反対である ⑤ 賛成しない ⑥ その他 ⑦ 無回答・不明 無回答		26 0 20 7 3 3	23.9% 0.0% 18.3% 6.4% 2.8% 2.8%	122 5 109 25 3 5	30.7% 1.3% 27.4% 7.3% 0.8% 1.3%	1,350 50 2,148 1,534 519 60	30.0% 1.1% 47.8% 34.2% 11.6% 1.3%	1,350 50 2,148 1,534 519 60	29.9% 1.1% 47.8% 34.2% 11.6% 1.4%
質問3 賛成する理由(あてはまるものをいくつも記入ください)。 小学校では、どのような学校選択制を導入するのが良いと思いますか。		(46)		(238)		(2,335)		(2,617)	
① 区内外に近い学校があり、通学の負担が少なく、安心だから ② 子どもとの関係や希望に合った学校が選択できると思うから ③ 選択することで学校への関心や積極性に関わろうとする意識を持つから ④ 学校の特色(例えば個性化への取組、情報発信)が選べるから ⑤ その他 ⑥ 無回答		22 30 21 5 3	47.8% 65.2% 45.7% 10.9% 6.5%	88 148 72 12 2	37.3% 62.7% 31.3% 5.1% 0.8%	845 1,583 744 140 30	36.2% 68.2% 31.8% 6.0% 1.3%	845 1,583 744 140 30	35.5% 67.7% 32.1% 6.0% 1.3%
質問4 反対する理由(あてはまるものをいくつも記入ください)。 小学校では、どのような学校選択制を導入するのが良いと思いますか。		(70)		(239)		(2,519)		(2,820)	
① 通学距離が遠距離になり、通学の安全性に不安が生じるから ② 学校の敷地や設備が劣るから ③ 学校の敷地や設備が劣るから ④ 子どもの送り迎えが不便だから ⑤ その他 ⑥ 無回答		39 37 45 5 10	55.7% 52.9% 64.3% 7.1% 14.3%	112 101 138 11 12	46.9% 42.3% 57.7% 4.6% 5.0%	1,242 1,128 1,648 149 141	49.3% 44.8% 58.3% 5.7% 5.6%	1,242 1,128 1,648 149 141	48.3% 44.8% 58.3% 5.7% 5.6%
質問5 質問2で、①②③にチェックされた方にお伺いします。 中学校では、どのような学校選択制を導入するのが良いと思いますか。		(26)		(127)		(1,400)		(1,553)	
① 自由選択制 ② プロック選択制 ③ 隣接区域選択制 ④ その他 ⑤ 無回答・不明		10 2 2 0 4	38.5% 7.7% 38.5% 0.0% 15.4%	54 15 53 0 5	42.5% 11.8% 41.7% 0.0% 3.9%	609 141 493 8 149	43.5% 10.1% 35.2% 0.6% 10.6%	609 141 493 8 149	43.3% 10.2% 35.8% 0.6% 10.2%
質問6 質問2で、④⑤にチェックされた方にお伺いします。 中学校では、どのような学校選択制を導入するのが良いと思いますか。		(46)		(231)		(2,285)		(2,562)	
① 自由選択制 ② プロック選択制 ③ 隣接区域選択制 ④ その他 ⑤ 無回答・不明		20 6 12 1 7	43.5% 13.0% 26.1% 2.2% 15.2%	134 26 57 1 14	58.0% 11.3% 24.7% 0.0% 6.1%	1,176 279 589 10 231	51.5% 12.2% 25.8% 0.4% 10.1%	1,176 279 589 10 231	51.9% 12.1% 25.7% 0.4% 9.8%
質問7 中学校統制を実施される場合、次のどちらがよいと思われますか。		(109)		(398)		(4,497)		(5,004)	
① 全員が学校統制を受ける ② 学校統制が、家庭から待望する并当のどちらかを選ぶ ③ 無回答・不明		60 35 14	55.0% 32.1% 12.8%	242 73 7	60.8% 18.3% 1.8%	3,576 783 138	79.5% 17.4% 3.1%	3,878 967 159	77.50% 19.32% 3.18%

横軸処理方法の違いにより、区民モニター結果報告書の割合と異なる場合があります。

都島区区民モニターアンケート結果
第1回 学校選択制と中学校給食について



平成24年6月
大阪市都島区役所

1 調査の概要

(1) 調査の目的

大阪市では、就学すべき小・中学校について、区長があらかじめ保護者の意見を聴取し、その意見を踏まえて学校を指定する小・中学校の「学校選択制」の具体化や「中学校給食」の実施に向け、検討を進めています。

都島区役所では、区民の皆様から幅広くご意見を頂戴し、集約するため、区民モニターアンケートを実施しました。

なお、同様のアンケートを5月に開催した都島区学校教育フォーラムの参加者、区内の保育所・幼稚園・小学校の保護者の方々を対象に実施しております。

(2) 調査の実施状況

- ① 調査期間：平成24年5月1日（火）～平成24年5月21日（月）
- ② 方 法：郵送及び電子申請アンケートシステム
- ③ 対 象：区民モニター登録者 453人
- ④ 回 答 数：398人
- ⑤ 回 答 率：87.8%

	区民モニター数						回答者数					
	男		女		計		男		女		計	
計	207	45.7%	246	54.3%	453	100.0%	180	39.7%	218	48.1%	398	87.8%
公募	75	16.6%	121	26.7%	196	43.3%	68	15.0%	115	25.4%	183	40.4%
抽出※	132	29.1%	125	27.6%	257	56.7%	112	24.7%	103	22.7%	215	47.4%
10代	1	0.5%	2	0.8%	3	0.7%	1	0.6%	2	0.9%	3	0.8%
20代	17	8.2%	18	7.3%	35	7.7%	15	8.3%	13	6.0%	28	7.0%
30代	34	16.4%	55	22.4%	89	19.6%	30	16.7%	47	21.6%	77	19.3%
40代	36	17.4%	56	22.8%	92	20.3%	25	13.9%	50	22.9%	75	18.8%
50代	39	18.9%	39	15.8%	78	17.2%	31	17.2%	37	17.0%	68	17.1%
60代	40	19.3%	46	18.7%	86	19.0%	38	21.1%	43	19.7%	81	20.4%
70代以上	40	19.3%	30	12.2%	70	15.5%	40	22.2%	26	11.9%	66	16.6%

※ 住民基本台帳から無作為に抽出した区民のうち、承諾を頂いた方

2 調査結果

問1. 次のいずれかで、あてはまるものはいくつでもチェックしてください（複数回答可）（n* = 398）

※ 標本数

① 小学生の保護者	37人 (9.3%)
② 中学生の保護者	19人 (4.8%)
③ 就学前の子ども（幼稚園、保育所等）の保護者	61人 (15.3%)
④ 地域関係者	179人 (45.0%)
⑤ その他	126人 (31.7%)
無回答	13人 (3.3%)

問2. 学校選択制の実施について、ご意見をお伺いします。（n = 398）

① 小中学校とも学校選択制の実施に賛成である	122人 (30.7%)
② 小学校での実施に賛成であるが、中学校での実施は反対である	5人 (1.3%)
③ 中学校での実施は賛成であるが、小学校での実施は反対である	109人 (27.4%)
④ 学校選択制の実施に反対である	125人 (31.4%)
⑤ わからない	29人 (7.3%)
⑥ その他	3人 (0.7%)
無回答・不明	5人 (1.2%)

問3. 問2で、①②③と答えた方にお伺いします。

賛成する理由は次のうちどれでしょうか。（複数回答可）（n = 236）

① 区域外に近い学校があり、通学の負担が少なく、安心だから	88人 (37.3%)
② 子どもの個性や希望にあった学校が選択できると思うから	148人 (62.7%)
③ 選択することで学校への関心や積極的に関わろうとする意識を持てるから	92人 (39.0%)
④ 学校の特色づくりや活性化への取組、情報発信が進むと思うから	76人 (32.2%)
⑤ その他	12人 (5.1%)
無回答・不明	2人 (0.8%)

問4. 問2で、②③④と答えた方にお伺いします。

反対される理由は次のうちどれでしょうか。（複数回答可）（n = 239）

① 通学距離が遠距離になり、通学の安全性に不安が生じるから	112人 (46.9%)
② 学校間の競争で格差が生じ、序列化が進む恐れがあると思うから	101人 (42.3%)
③ 学校の施設や保護者間の評判等で学校が選ばれ、児童生徒数がかたよる恐れがあるから	138人 (57.7%)
④ 子どもの見守りや防災訓練など、学校と地域が連携した取組がうまくいかなくなる懸念があると思うから	131人 (54.8%)
⑤ その他	23人 (9.6%)
無回答・不明	12人 (5.0%)

問5. 問2で、①②と答えた方にお伺いします。

小学校では、どのような学校選択制を導入するのがよいと思われましたか。(n = 127)

① 自由選択制	54人 (42.5%)
② ブロック選択制	15人 (11.8%)
③ 隣接区選択制	53人 (41.8%)
④ その他	0人 (0%)
無回答・不明	5人 (3.9%)

【上記を選んだ理由】

① 自由選択制

- ・ どうせ選択できるのであれば、何の制限もなく自由に選択されるべきだから。
- ・ 家の事情や子どもの個性などに合わせて保護者や子ども本人にも選ぶ権利がある方がよいと思うので。
- ・ 保護者、生徒の責任で考えたらよい。選択肢は多い方がよい。
- ・ 私学の小学校へ行っている子どもとかは自由に区域外へ通学しているので、安全面で親が責任持てれば自由選択制で良いのではと思います。
- ・ 先生たちの意識が高まるのでは。

② ブロック選択制

- ・ 一定の範囲で選べる所からはじめてゆくゆくは完全自由にと 생각합니다。

③ 隣接区選択制

- ・ 小学生の場合、あまりに遠方では不安になる。
- ・ 各種事件や交通事故等を考慮すると小学生は通学距離が少ない方がよい。
- ・ 選択制にしても安心できる距離じゃないと困ると思う。小学生なら特にすぐ迎えに行ける、すぐ帰宅できるのは重要だと思う。
- ・ 遠方だと通学時安全に不安があるし、災害時もすぐに帰れないのは怖い。友人も離れてしまうと遊ぶ場所が家から遠くなる可能性がある。
- ・ 基本的には従来の学区制で良いと思っています。しかし、自宅マンションから一番近い小学校が学区からはずれており、多少融通が利けば良いと思いました。また、災害時の避難場所も、指定されているのは一番近い小学校ではないので、それも問題があると思っています。

問6. 問2で、①③と答えた方にお伺いします。

中学校では、どのような学校選択制を導入するのが良いと思われましたか。(n = 231)

① 自由選択制	134人 (58.0%)
② ブロック選択制	26人 (11.2%)
③ 隣接区選択制	57人 (24.7%)
④ その他	0人 (0%)
無回答・不明	14人 (6.1%)

【上記を選んだ理由】

① 自由選択制

- ・ 自立心が出るころだし、自分の将来を考えるいい機会になると思うから。
- ・ 中学生だと自分の意見も持っていると 思いますし、隣接区域選択だと現状とあまり変わらない気がします。
- ・ 親と子どもが学校を選ぶことを話し合える年齢になっているのではないかと 思えるので、学校を自由に選択できる方が望ましいと思います。

- ・ 中学はこれから先、高校大学と見据えるのに大事なステップであると思う。その為、より自分の希望に向けた学校を選べるのは良いことだと思う。
- ・ 中学校受験で、私立の学校に電車通学する子もいるので、自分が興味のある学校を選んでよいと思う。
- ・ 小学校では通学距離等の不安もあるが中学進学ではバス等にも乗車することも可能だと思うので、自由に選択できるのは子どもにとって良い事なのではと思う。
- ・ 中学になればある程度の距離はあっても良い。ただし、距離に応じて自転車通学を認めてほしい。
(都島区は自転車がないと不便な地域)
- ・ 中学はクラブ活動も盛んであり、電車通学してでも子に合う部活動をしている学校へ通わせたいから。
- ・ 部活や進学などある程度分野別の特色を出していくことを目的として選択制を導入すれば、学生も教員も同じ目的に向かって前向きになれる気がする。
- ・ 個人の能力(勉強・スポーツ)を専門的に学ぶ事が出来、才能を伸ばすことができる。外国でも実施している国あり、1年間在住した時、日本も必要と感じた。
- ・ 中学生は不安定な時期であり、小学校で人間関係等に問題が生じた場合、必ずしも区域の中学校に進むのが望ましいとはいえない。また、自我、自覚も出てくるので、自分にあった学校を選ぶ選択肢があったらいいと思うから。
- ・ 「どこでどう学ぶか」は親子の話し合いの上で自由に決めるのが良いのでは？通学についても自己責任とすべき。また生徒の集まらない学校については、魅力を高めるべく努力するべき。
- ・ 教職員に教育に対する職責が芽生え、文武両道等特色のある学校づくりで活性化につながる。

② ブロック選択制

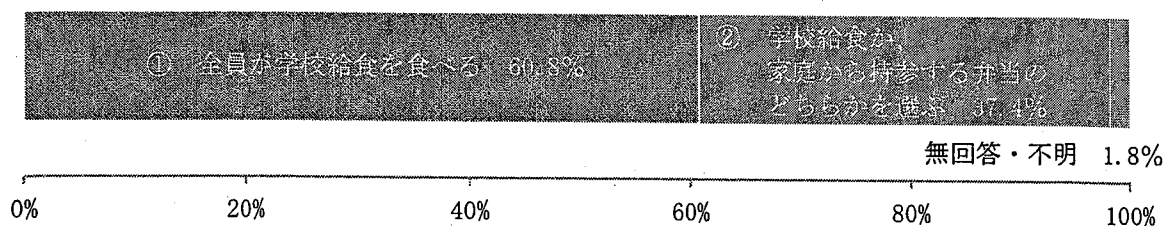
- ・ ブロック制だとある程度の競争も起こり、また、極端な偏りも防げそうだから。
- ・ 都島区内には良い学校が多いと思うので隣接区にわざわざ行く事もないと思うし、自由すぎても格差が生まれると思うため。

③ 隣接区選択制

- ・ 通学路が遠いと子どもに負担。義務教育で全員が中学に行かなければならないのだから、完全に自由にする必要はない。
- ・ 基本的に家から近く学校のほうが地域との連携が取れるから。
- ・ 近所づき合いが大事だと思うからです。みんな何となく顔を知っているのです。
- ・ 中学生ともなれば近くでなくてもとも思いますが、近隣で選ぶというのは悪くないと考えます。
- ・ 義務教育の範囲なのでそんなに学校差はないと感じるから。

問7. 中学校給食を実施される場合、次のどちらが良いと思われますか。(n = 398)

① 全員が学校給食を食べる	242人 (60.8%)
② 学校給食か、家庭から持参する弁当のどちらかを選ぶ	149人 (37.4%)
無回答・不明	7人 (1.8%)



問8. 学校選択制、中学校給食についてご意見があれば、ご記入ください。

【学校選択制について】（主なもの）

（導入に賛成 など）

- ・ 現状でも他の中学に行きたくて引越しをされる方がおられるので、選択制を導入し、個性を伸ばせる教育現場にした方がよいと思います。ただし、大半の方は現状の校区の中学に行くと思います。
- ・ 授業の進め方、宿題の量等学校によってかなりちがうと聞くので、将来的な受験などを考えて、不満に感じながら通わせるよりも、より希望に近い学校を選んで通う方が幸せだと思います。
- ・ 特色のある学校が増え、個人の特色もより生かせるようにすべき。より近くの学校へ通えないという不合理をなくす。中心サッカー校・野球校・パソコン校・英語校・文学校など多種になれば楽しい。
- ・ 学校は自由選択にしても皆結局一番家から近い場所を選ぶと思います。そうでない場合は多分、家庭の事情やいじめの問題があると思うので、可能な限り自由に選ばせてあげればいいと思います。
- ・ 学校や給食も選択の自由があって良いと思うが、それによるいじめや差別などないように慎重に進めて欲しいと思います。先生の数を増やすなど。小学校間でスポーツ大会など各校の特色をみる機会など多くあると中学入学時自由選択の意味があると思います。小学生はあまり広範囲を遊び場にしない方が親としては安心です。最近車の事故も多く、スクールゾーンをもうけるなど自治体の協力も含めて「安全」第一で行って頂きたいです。
- ・ 学校選択制には賛成だが、学校格差の出るのが心配。特に小学校では、自宅よりの一定の距離内に限る等なんらかの制限が必要だと思う。
- ・ 学校選択制が絶対に良いと思っている訳ではないです。でも、今の制度で行き詰まっているなら、試す価値はあると思います。

（中学校での実施は賛成）

- ・ 学校選択制は中学校は賛成。小学校は通学上無理があります。
- ・ 保育園、幼稚園を卒園して小学校へ入学する時は、不安を除くため生活している地域での入学がいいと思う。中高学年になれば様子もわかってくるので選択も可能かと思うけれど。
- ・ 小学生の間は通学の安全、近所の子どもの付き合い、保護者のコミュニティが大切だと思います。中学校の選択制については、現行の公立高校での多用な進路、教科の選択を考え、その入口である中学校も選択できた方がよいと思いますので。

（導入に反対 など）

- ・ 学校選択制について、同じ学校に行っているとその保護者の方の顔もわかり、何かあった時お互いに連絡がとりあえる可能性が高く安心感があります。近所の人も今以上に知らない人が多くなりそう。安全面で不安です。
- ・ 学校選択制に反対なのはせめて中学生くらいまでは同じ町内会から同じ学校で一緒に勉強するのが良いと思います。そうでなくてもとなり近所が疎遠になりがちな現在、学校がまちまちであれば町内会で一緒に遊ぶ機会も少なくなり、子どもの時から顔を合わす機会が少なくなれば同じ年代でも同窓の親しみがなくなると思います。
- ・ 学校選択制についてですが、私は基本選択制には反対で、地域の学校に皆が通うのがいいと思います。「いじめ」などの理由でその学校に通いたくない事情を持った子どもが他の学校を選択肢し、転校などがスムーズにできるようなシステムを作るのが必要だと思います。ですので、基本固定で一部事情がある場合のみの選択制の導入が良いと思います。
- ・ 情報量の多い昨今の生活は何事も選択肢の多い日々です。古い考えであるかと思いますが、せめて小中学校は選択をする責任を軽くしてやり、勉強に集中させてやりたい。子供にとって迷いは心の負担になるかと考えます。
- ・ 公立学校の場合、特色をもたせた学校作りをしても、教師の異動があります。その時々在校される先生方の力量によって、特色が変化するでしょう。教師の資質・力量が問われるのは現在も同じでしょう。まず、今のままでこの学校においても基礎学力は身につけます！ということが大切と考えています。
- ・ 少子化が進む中で学校運営を計画的に作り上げる為には、あまり流動的な状況になるのは良くないかと思います。地域性、独自性を考え、長期的には学校の“色”を作りあげて欲しいと思います。

(その他)

- ・ 学校選択制については、実際やってみないとわからない事が多く、新聞等ですでに導入された自治体の話など読むと、問題点が様々あるので、性急に事を進めず、もっと議論した方がよいと思う。
- ・ 学校選択制については、実施のメリットがあるのか？という疑問がわきます。確かに学区外の学校の方が近いのに・・・という事はあるとは思いますが・・・一度やってみてもいいとは思いますが、正直、小中学生の保護者はとても悩まされるのではないのでしょうか（学校選択制が決定すれば）。
- ・ 学校選択制に関しては、奥深くまで考える必要がある。資料を見ていると、どちらもメリット・デメリットが両方とも浅いところしか見えていないと思うから。

【学校給食について】（主なもの）

（全員給食がよい～保護者の負担軽減 など）

- ・ 両親が共働きであれば、給食制はすごく助かる制度だと思う。アレルギー対策がどこまで出来るかが問題だと思う。
- ・ 中学校給食の導入、ぜひお願いします。お弁当は保護者の負担もありますが、毎回同じようなお弁当になり、栄養バランスがかたよってしまいます。
- ・ 給食については、今働いている主婦も多いと思うので、いいと思います（お弁当というお母さん手作りの思い出がないのは少しさみしい気もするので、週に一度お弁当の日というのもいいのでは？と感じます。）。
- ・ 中学も給食を導入して頂いたら毎日の朝の 10 分、20 分がどれだけ貴重な時間か保護者も大変助かると思います。是非とも検討お願いします。
- ・ 少子化対策として、保護者の育児負担の軽減が必要。中学校の全員給食化はその一助になると思う。

（全員給食がよい～栄養面 など）

- ・ 小学校と中学生の子供がいます。小学生はお昼にバランスよく食べれて、中学になると弁当になり、毎日バランスを考えつつも、忙しさもありなかなかむずかしいと思っています。家庭環境もいろいろなので、みんながバランスよく給食を食べれたらよいと思います。
- ・ 給食は選択制にすると負担の関係などで、結局栄養のない買ってきたものにする家庭も出てくると思います。また子どもたちは栄養が偏っていても好きなものを食べたいと思うものなので、選択制にすると給食を避ける子も多いと思います。きっちりと全員、選択なしで給食を実施してほしいです。

（全員給食がよい～食育が進む、一体感がある など）

- ・ 同じ釜の飯を食うことで、本当の意味で「食べる」が実現する。コミュニケーションがとれてこそ、もくもくと一人で弁当を食べるのは「食べる」ことにならない。
- ・ 中学校給食について、食育の一環として小学校からの給食制度を継続すべきであると思います。アレルギーへの対応は事前の献立配付によってあらかじめ通知し、各家庭で除去が必要な献立の代替食を持参してもよいとすればいいのではないのでしょうか？
- ・ 基本的には良いと思いますが、再度の検討が必要だと感じます。教育の中での給食の位置づけがややふやに感じます。食育につなげるような事も書かれていますが、一方でアレルギーへの対応は困難となっています。昨今、食物アレルギーが一般化してしまっている現状の中で、「食育」をうたいながら「対応は困難」という事は、「本当は食育を考えてはいません。」と言っているようなものですよ。導入を「食育」や農業、水産、自給などへの教育機会だと、積極的に捉えて頂く事を願います。
- ・ 教育行政は全国で、ほぼ同一の条件であるべきと思うが、大阪の給食率は、突出して低く、早急に導入すべき。ただし、体格差を考慮し、給食を残さず食べることを条件に、プラスして弁当持参も容認すべきだと思います。
- ・ 将来を担う育ち盛りの子どもにバランスのとれた食事をさせる事は大事である。反面、給食費の不払い防止する徴収体制を確立させ財政悪化を防ぐ事も重要である。

(給食と弁当の選択制がよい)

- ・ 小学生には学校給食は必要だと思うが、中学生になると忙しい父母に作ってもらうより自分で作ったりするのも勉強になると思う。
- ・ 中学校給食について、生徒さんの成長する個人差が厳しい時なので、給食だけで満足出来る方とまだまだ満足できないという方、生まれ持ったアレルギー体質の方等多様ですから、お弁当、学校給食の選択どちらか選べるようにした方がいいように思います。
- ・ 手づくり弁当を持たせてやりたい親心、弁当を作ってやれない家庭環境等を考えると給食と弁当を選択できるのが良いと思います。
- ・ 中学校給食については、食育上バランスの良い食事は大切だが、著しい偏食は別にして、好き嫌いも個性であると思います。
- ・ 完全給食にしてしまえば、給食費の滞納者もでてくると思う。アレルギーがある子もいるので、給食にすればアレルギー食も作らなければならない。でもアレルギーの多い子は持参になるのであれば、1人だけ弁当もさみしいので、選択できると子どもの心のケアも少しは出来ると思う。
- ・ 中学生になれば学校給食は反対です。甘やかし過ぎになると思う。自分で弁当を作り持参して食べさせなさい。弁当一つ作るのに毎日どれだけ苦労しているかを分からせる為にでも自分で作らせる事です。
- ・ 基本中学校給食には反対です。小学校でも給食費未払いが多く、同様の事が起こると考えるからです。平成の時代、栄養バランスも学校がする必要はないと思います。店もものもあふれ、各家庭で考えるべきです。

【その他】(主なもの)

- ・ どのような制度であれ、地域住民が積極的にコミットメントすべきだと考える。
- ・ どちらの問題も十分に検討したうえで決定すべきだと思います。また導入となった場合には、各区ばらばらでなく市全体で実施した方が良いでしょう。
- ・ 小中学生が身近にいないので、突然のアンケート、なかなかむづかしい問題です。フォーラムに出席させていただき、説明、質問、意見の数々をうかがい、各々の立場での考え、希望があるのを知り、更にむづかしい問題だと知りました。十分な議論の末の結論となります様に願っています。

3 調査分析のまとめ

学校選択制については、「小学校・中学校とも賛成」が31%、「中学校での実施は賛成」が27%（あわせると58%）となっています。「実施に反対」は31%です。

賛成する理由としては、複数回答のうち、63%の方が「子どもの個性や希望に合った学校が選択できると思う」をあげています。それ以外の理由は、概ね同じ割合となっています。

反対する理由としては、「学校の施設や保護者間の評判等で学校が選ばれ、児童生徒数がかたよる恐れがあるから」が58%、「子どもの見守りや防災訓練など、学校と地域が連携した取組がうまくいかなくなる懸念があると思うから」が55%となっており、これら2つの理由が比較的多くなっています。

賛成の場合の導入方法については、小学校は「自由選択制」が43%、「隣接区域選択制」が42%とほぼ拮抗しています。「自由選択制」と回答された方は「何の制限もなく自由に選択されるべき」や「選択肢は多い方がよい」などを理由としている一方、「隣接区域選択制」と回答された方は、「小学生の場合、あまりに遠方では不安になる」「各種事件や交通事故等を考慮すると小学生は通学距離が少ない方がよい」など、通学距離と安全面の課題を理由としています。

一方、中学校では「自由選択制」が58%、「隣接区域選択制」が25%と前者が後者を2倍以上、上回っています。「自由選択制」と回答された方は「自立心が出るころだし、自分の将来を考えるいい機会になると思う」や「中学生だと自分の意見も持っている」など、小学生との違いを理由にするご意見が多くなっています。

中学校給食については、「全員が学校給食を食べる」が61%、「学校給食か、家庭から持参する弁当のどちらかを選ぶ」が37%となっています。

最後に自由記述で、学校選択制、中学校給食についてご意見をお伺いしたところ、学校選択制へのご意見が約90件、中学校給食へのご意見が約180件ありました。その中で、給食費の未払問題について37件、アレルギーについて10件のご意見を頂いています。

回答にご協力いただきました、区民モニターの皆様に厚くお礼申し上げます。

平成 24 年度第 1 回区民モニター集計

設問		回答数	回答率
問 1	1	37	9.3%
	2	19	4.8%
	3	61	15.3%
	4	179	45.0%
	5	126	31.7%
	無回答	13	3.3%
		435	
問 2	1	122	30.7%
	2	5	1.3%
	3	109	27.4%
	4	125	31.4%
	5	29	7.3%
	6	3	0.7%
	無回答・不明	5	1.2%
		398	
問 3	1	88	37.3%
	2	148	62.7%
	3	92	39.0%
	4	76	32.2%
	5	12	5.1%
	無回答・不明	2	0.8%
		418	

設問		回答数	回答率
問 4	1	112	46.9%
	2	101	42.3%
	3	138	57.7%
	4	131	54.8%
	5	23	9.6%
	無回答・不明	12	5.0%
		517	
問 5	1	54	42.5%
	2	15	11.8%
	3	53	41.8%
	4	0	0%
	無回答・不明	5	3.9%
		127	
問 6	1	134	58.0%
	2	26	11.2%
	3	57	24.7%
	4	0	0%
	無回答・不明	14	6.1%
		231	
問 7	1	242	60.8%
	2	149	37.4%
	無回答・不明	7	1.8%
		398	

お問合せ先

都島区役所 総務課 総合企画グループ

住所 : 〒534-8501 大阪市都島区中野町 2 丁目 16 番 20 号
(区役所 1 階 11 番窓口)

電話 : 06-6882-9683

ファックス: 06-6882-9787

E メール : tb0010@city.osaka.lg.jp

都島区保護者アンケート結果
学校選択制と中学校給食について



平成 24 年 7 月
大阪市都島区役所

1 調査の概要

(1) 調査の目的

大阪市では、就学すべき小・中学校について、区長があらかじめ保護者の意見を聴取し、その意見を踏まえて学校を指定する小・中学校の「学校選択制」の具体化や「中学校給食」の実施に向け、検討を進めています。

都島区役所では、区民の皆様から幅広くご意見を頂戴し、集約するため、区内の保育所・幼稚園等及び小学校の保護者の方々を対象にアンケートを実施しました。

なお、同様のアンケートを5月に開催した都島区学校教育フォーラムの参加者、区民モニターの方々を対象に実施しております。

(2) 調査の実施状況

- ① 調査期間：平成24年5月15日（火）～平成24年5月31日（木）
- ② 方 法：学校園・施設を通じ、保護者に協力依頼
- ③ 対 象：区内の保育所・幼稚園等及び小学校の保護者 7,458人
- ④ 回 答 数：4,497人
- ⑤ 回 答 率：60.3%

回答用紙 回収場所	配布数	回収数	回収率
保育所・幼稚園等	2,891	1,483	51.3%
小学校	4,567	2,908	63.7%
郵送・ファックス・持ち込み		106	
計	7,458	4,497	60.3%